



健康科学大学
HEALTH SCIENCE UNIVERSITY



特定非営利活動法人

大学コンソーシアムやまなし

県民コミュニティカレッジ 地域ベース講座

どうなる？地域の医療と暮らし

開催日時：平成22年2月3日（水）
13:00～16:30
（受付：12:30～）

会場：富士河口湖町中央公民館

主催：健康科学大学

大学コンソーシアムやまなし

問い合わせ先：

0555(83)5200

地域での生活を安心・安全に暮らすために必要な医療や福祉、リハビリテーション等のサービスの現状はどうなっているのでしょうか。そしてこれからどうあるべきでしょうか。

本講座では、地域における健康づくり、福祉（子育て、障害児・者や精神障害者の暮らし、高齢者の暮らしなど）、リハビリテーションの状況について分かりやすく説明し、私たちが暮らす地域の「今」を理解すること、そして「これから」を考えることを目標とします。



◆基調講演：13:00～

「どうなる？地域の医療と暮らし」

折茂肇(健康科学大学 学長)

◆分科会(各分科会の詳細は裏面をご覧ください):14:10～

①地域の健康づくり ②地域の福祉 ③地域のリハビリテーション

※お申込みの際に3つの分科会のうち、ひとつをお選びください。

◆全体会(3つの分科会の内容を発表します):15:40～16:30

※当日はお子様の一時預かりを行いますので、ご希望の方は申し込み時にお知らせください。

お申込み・問い合わせ先

健康科学大学総務課
〒401-0380
山梨県南都留郡
富士河口湖町小立7187

電話 0555(83)5200
FAX 0555(83)5100
Email: soumu@kenkoudai.ac.jp

<申込書>

分科会お申込

①地域の健康づくり

②地域の福祉

③地域のリハビリテーション

お名前:

ご住所:

お電話番号:

※上記3つの分科会のうちご参加をご希望される分科会をひとつお選びください。

各分科会の内容（14：10～15：30）

①地域の健康づくり【入江・木部（福祉心理学科）】

2015年、我が国の高齢化率は26.0%に達します。急激な高齢化は、全国一律ではなく大きな地域格差があり、高度経済成長期に青年期を過ごした団塊世代の高齢化は高齢者の生活様式や考え方、価値観を一層多様化させ、今後の健康づくりにおいても従来とは異なる発想による新たな体制づくりが求められます。そこで本分科会では、地域での「健康まちづくり住民会議」の構築など、「これから」の地域に必要な仕組みを検討し、さらにその相互作用によって、住民主体の共助による健康な地域を実現することを目指します。

②地域の福祉（子育て、障害児・者や精神障害者の暮らし、高齢者の暮らし、ボランティアなど）【山崎・長坂・渡辺（福祉心理学科）】

最近では介護や子育て、不登校、うつ、アルコール依存、自殺等々の問題がテレビや新聞で数多く取り上げられています。「自分がうつになったら」「自分が家族の介護をすることになったら」と関心を持っている方も多いのではないのでしょうか。このような困りごとや負担を家族だけで抱えるのではなく、いかに社会的に支えていくことができるか、社会的な相談体制やサービスを整えていくかが、暮らしやすい地域づくりに向けた大きな課題となっています。本分科会では、「これから」の私たちが暮らす地域に必要な子育て・介護等の社会的支援のあり方について、皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

③地域のリハビリテーション

【大島・伊藤（作業療法学科）・三科（理学療法学科）】

まずは、一般的な医学的リハビリテーションの流れを理解していただきます。その上で、郡内地域で何らかの障がいを持ったとき、どのような流れでリハビリテーションが展開されていくのかを知り、今後のリハビリテーションサービスのあり方を考えていきます。

※14：10～15：30の分科会については、上記3つのプログラムからひとつお選びいただき、表面の申込書に☑をいれて、お申し込みください。